

鳥取県病原微生物検出情報

(令和8年2月検出分 検体採取 令和8年1月及び2月)

令和8年3月日
鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体 57 件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A 型及び B 型、パラインフルエンザ 1-4、RS-A 型及び B 型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナ NL63、コロナ OC43

○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

○検出結果

57 件中 45 検体（79%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：20 件、ボカ：3 件、RS-A 型：1 件、RS-B 型：3 件、SARS-CoV-2：7 件、アデノ：2 件、インフルエンザ A 型：2 件、インフルエンザ B 型：2 件、コロナ NL63：3 件、コロナ OC43：10 件、マイコプラズマ：1 件であった。令和7年4月から令和8年2月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

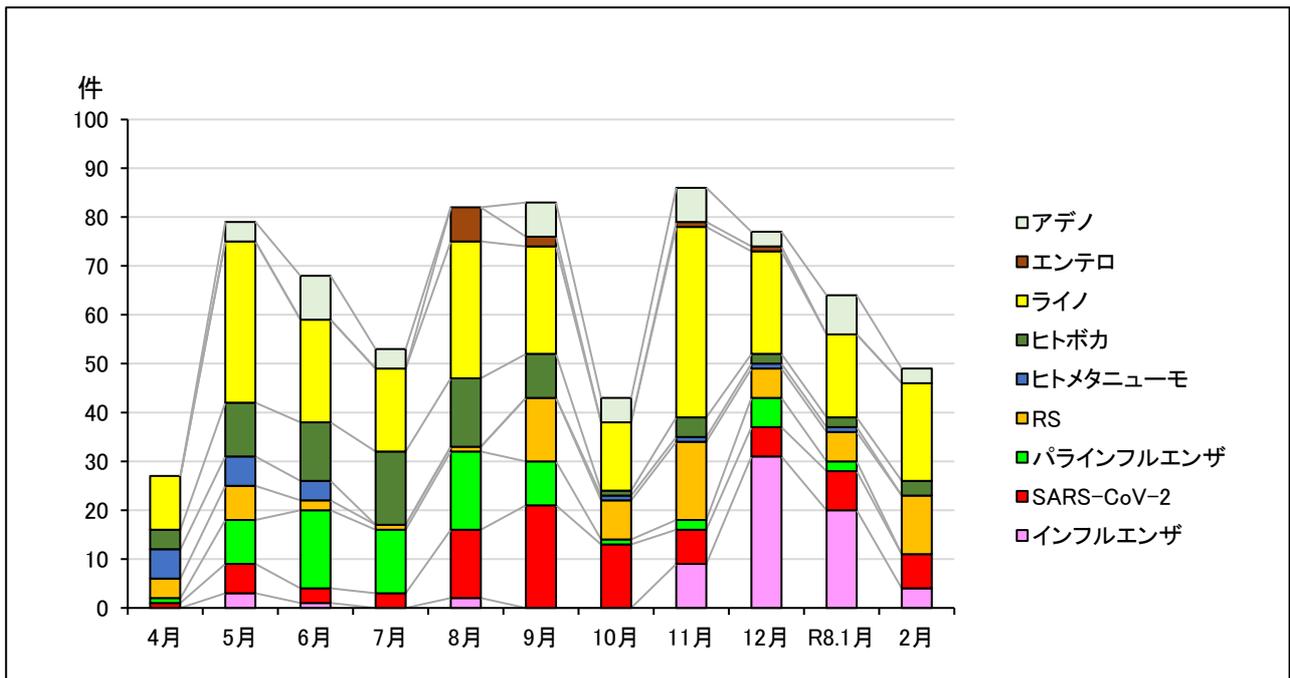
表 1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和7年4月～令和8年2月検出分）

年齢	病原体年齢別検出数（2月検出数/累積）														合計	
	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≦			
標本数	24	283	1	42	2	16	7	61	5	102	11	135	7	61	57	700
ライノ	15	169		15		6	2	18	1	19	2	14		2	20	243
ボカ	3	72		1				1				2		1	3	77
ヒトメタニューモ		12								2		6				20
RS-A	1	6								1		3			1	10
RS-B		17		2				1		4	1	8	2	9	3	41
SARS-CoV-2	1	13		1		1		6	1	15	2	34	3	19	7	89
パラインフルエンザ 1		1								1		2				4
パラインフルエンザ 2		7		3								2				12
パラインフルエンザ 3		16								6		6		5		33
パラインフルエンザ 4		21		2						1		2		1		27
アデノ	2	30		2				3							2	35
エンテロ		11														11
インフルエンザ A 型		16		5		4	2	9		12		10		4	2	60
インフルエンザ B 型	1	2	1	1		2		3		1		1			2	10
コロナ NL63 ^{※1}		10							2	2	1	2			3	14
コロナ OC43 ^{※2}	5	7					2	2	1	2	2	2			10	13
マイコプラズマ ^{※1}		9		1		1	1	6		3		1			1	21
検出せず	3	22		11	2	4	1	20		34	4	45	2	20	12	156

※1 5月21日搬入検体分より実施

※2 10月1日搬入検体分より実施

図 1. 月別主要ウイルス検出状況（令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月検出分）



アデノウイルス 2 件はすべて C 種 2 型であった。アデノウイルス C 種 2 型は急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

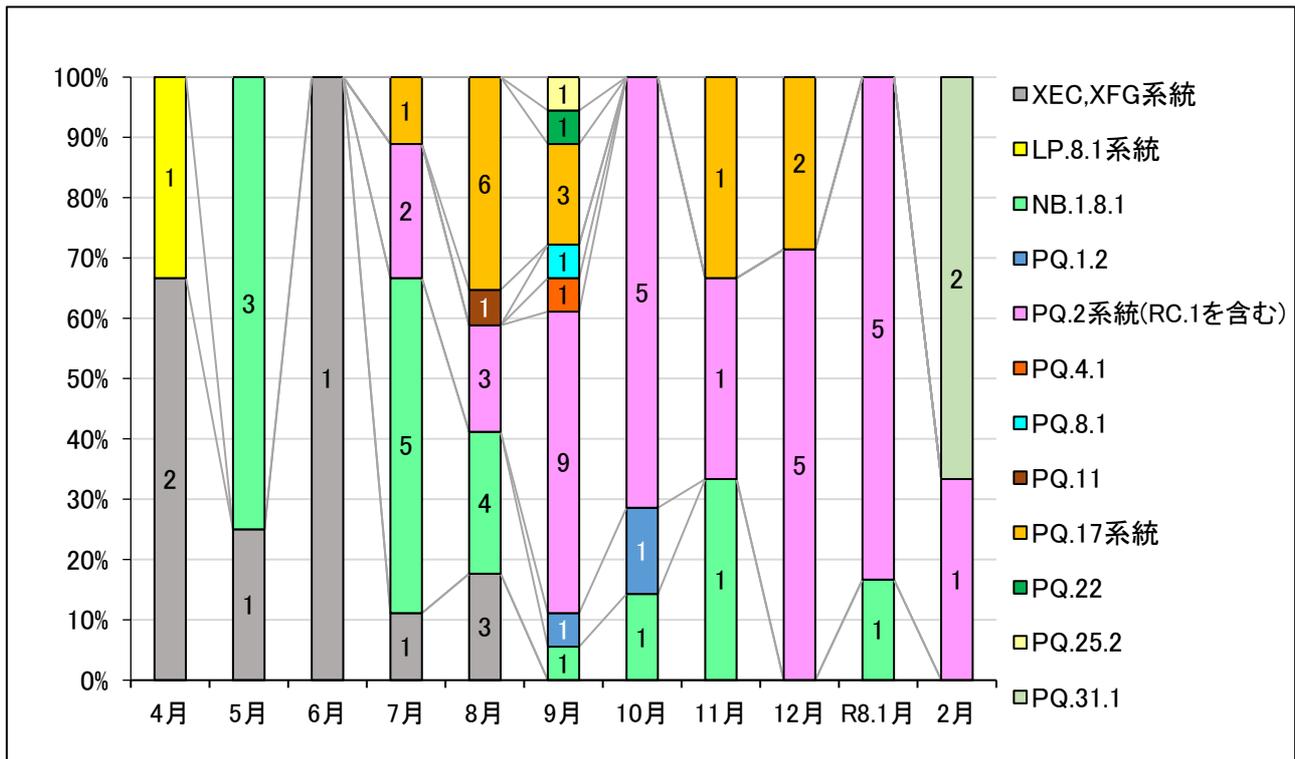
インフルエンザ A 型 2 件はすべて H3 型であった。インフルエンザ B 型 2 件はすべてビクトリア系統であった。

SARS-CoV-2 の系統は表 2 及び図 2 に示すとおり、RC. 1 が 5 件、NB. 1. 8. 1 が 1 件、PQ. 31. 1 が 2 件であった。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、NB. 1. 8. 1 系統と、NB. 1. 8. 1 系統の下位系統が依然大多数を占めている。

表 2. SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 8 年 2 月検出分）

検体採取年月日	年齢	型別
R8. 1. 16	10 歳未満	RC. 1
R8. 1. 19	60 代	NB. 1. 8. 1
R8. 1. 23	40 代	RC. 1
R8. 1. 27	80 歳以上	RC. 1
R8. 1. 29	10 歳未満	RC. 1
R8. 2. 10	80 歳以上	RC. 1
R8. 2. 11	80 歳以上	PQ. 31. 1
R8. 2. 15	70 代	PQ. 31. 1

図 2. 月別 SARS-CoV-2 ゲノム解析結果 (令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月検出分)



2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の 9 件について検査を行ったところ、アデノウイルス F 種 41 型が 1 件、サポウイルスが 1 件、ノロウイルス G2 が 3 件検出された。F 種 41 型は感染性胃腸炎の原因となるウイルスである。

3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名が A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の 7 件について検査を行ったところ、A 群溶血性レンサ球菌が 5 件 (T 型別 3 型 : 2 件、T 型別 4 型 : 3 件) 分離された。3 型、4 型は咽頭炎で多くみられる型である。

4 RSウイルス感染症

臨床診断名が RS ウイルス感染症の 7 件について検査を行ったところ、A 型が 4 件、B 型が 4 件検出された。そのうち 1 検体からは A 型、B 型両方が検出された。

5 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の 1 件について検査を行ったところ、エンテロウイルス、アデノウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスのいずれのウイルスも検出されなかった。

6 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の 1 件について検査を行ったところ、アデノウイルスは検出されなかった。